



シリーズ  
タンチョウ  
Vol. 341

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

吉田 裕志

〒085-1205 鶴居村中雪裡南 ☎64-2620/FAX64-2239

鶴居 タンチョウ 検索



## 長沼町×鶴居村 タンチョウ子ども交流ツアー ～鶴居編～

KODOMO湿地交流つるい委員会では、鶴居村の子どもたちの自然体験・交流の機会を設けようと、村からの補助を受け、小中学生を対象に毎年子ども行事を行う「KODOMO湿地交流」に取り組んでいます。

8月8日・9日には、KODOMO湿地交流の活動の一環として、鶴居村の子どもたちと長沼町の子もたちでタンチョウ子ども交流ツアーを実施しました。両町村の子どもたちは、共にタンチョウが暮らしている地域に住んでいるという共通点から以前より交流を続けており、今回は長沼町の子もたちが鶴居村を訪れ、交流ツアーを実施しました。

この交流ツアーは2日間の日程で実施しましたが、1日目のメインイベントは「タンチョウの巣の調査」です。普段は近くで見ることのできないタンチョウの巣が見られるということで子どもたちもワクワク



です。調査は2つのグループに分かれ、それぞれ違う場所にある巣に向かいました。一方の班は放牧地の片隅にあるヨシ原に作られた巣を調査しました。こちらの巣は、湿原を代表する植物であるヨシをメインの巣材とした典型的なタンチョウの巣でした。この巣の周りにはなんと、巣の家主と思われる2羽のタンチョウがいて、子どもたちも大興奮です。この2羽には「お邪魔します」という気持ちで調査をさせていただきました。もう一方の巣は沼地の中にあり、巣の材料もスゲやフトイ、木の枝などもう一つの巣とは全く雰囲気の違いの違う巣でした。沼の中に

ある巣だったため、木の板で簡易の木道を作って巣の近くまで行くことにしていました。そのため、大人たちは沼に落ちてどろんこになってしまう子はいないかドキドキしていましたが、誰も落ちることはなく、無事調査を終えることができました。調査が終わった後はお互いの巣がどんなだったか教え合い、いろんな巣があることを知ることができました。

2日目は、湿根内の右岸堤防で生き物を観察する「湿原ウォーク」を行いました。湿原の中の植物の話や、長沼町と釧路湿原の共通点の話などを興味津々に聞いていました。また、湿原ウォークの最中には、付近で暮らしているタンチョウの姿も見ることができ、大満足の様子でした。

2日間のプログラム終了後はみんな疲れてぐったりしていましたが、感想を聞くと「楽しかった」という声をたくさん聞くことができました。今回は「鶴居編」ということで長沼町の子もたちに来てもらいましたが、次回は「長沼編」ということで、鶴居村の子もたちと一緒に長沼町へ行きます。たくさんの子もたちに参加してもらい、元気いっぱい交流してもらえることを楽しみにしています。

